

# 田園と都市が調和するまち 八重瀬町

沖繩本島南部に位置する八重瀬町は、平成十八年一月に東風平町と具志頭村の二町村が合併して誕生したまちです。町域は東西に約六・六キロメートル、南北に約九・一キロメートルと長方形形状をなし、総面積は二二・九平方キロメートルで沖繩県の一・一八パーセントを占めています。

大地の大部分が起伏に富んだ地形となっており、本町の南部一帯が高台で、その他は緩やかな丘陵地帯となっています。丘陵地帯には、サトウキビ畑が広がり、その中に集落が点在しています。

沖繩戦跡国定公園になっている本町の南部は、多々名グスクや八重瀬岳、具志頭城址、ぐしちゃん浜など深い緑と美しい海辺を有する地域で、優れた景観を有しています。

全体的に肥沃な土壌に恵まれ、古くから農業の盛んなまちとして発展してきました。

近年は、本町の北部地域で主要道路の国道五〇七号拡張や同バイパスの整備、区画整理事業など都市化が進み、田園と都市が調和するまちとして日々変貌しています。



Y A E S E T O W N

## まちのシンボル

### 「八重瀬岳」

東風平地区と具志頭地区の間にまたがる八重瀬岳は、まちのシンボリックな存在であり、昔から身近な存在として親しまれてきました。遺跡や史跡、自然、桜など豊かな地域資源を有し、新町名の由来となっています。

八重瀬の「八重」はいくつにも重なっていることを意味し、「八」は末広がりや幸せが幾重にも重なり、「瀬」は物事に会おう時の意味があります。「八重瀬」には、幾重にも重なった人々の繁栄と末広がり的发展性のある町のイメージがあり、それが八重に続くことが願われています。



まちのシンボル八重瀬岳

## 八重瀬町の位置

八重瀬町は、沖繩県本島南部に位置し、西は糸満市、東は南城市、北は豊見城市及び南風原町に隣接しています。



町章



【町花】  
マリーゴールド



【町木】  
リュウキュウコクタン



【町花木】  
ヒカンザクラ



【町魚】  
トビウオ

## 【八重瀬町町民憲章】

八重瀬町は、沖繩本島の南に位置し、八重瀬岳のふもとに広がる恵まれた自然や先人たちが築き上げてきた悠久の歴史、伝統文化が息づくまちです。

わたしたち八重瀬町民は、その誇りと責任をもち、心豊かで明るく活力あるまちづくりをめざし町民憲章を定めます。

- 一、わたしたちは 自然を守り育て、住みよいまちをつくります。
- 一、わたしたちは いのち、ふれあいを大切に、思いやりのあるまちをつくります。
- 一、わたしたちは 心とからだをきたえ、健康で明るいまちをつくります。
- 一、わたしたちは 歴史を学び、平和で、文化のかおるまちをつくります。
- 一、わたしたちは 働くよろこびと若い力が育つ、活気あふれるまちをつくります。



## 青い海と安らぎの森林



本町の南部に位置する具志頭・波名城地区は、多々名城や波名城の郷ビーチ、ぐしちゃん浜など美しい海辺と安らぎの森林を有する場所です。のどかな田園風景も広がり、穏やかな雰囲気を訪れる人の心を癒してくれます。

## 進む都市化



本町の北部地域を中心に、国道五〇七号の拡張や伊覇・屋宜原土地区画整理事業など基幹道路や住宅地の整備が行われ、新たな中心市街地として都市的な開発が進められています。

## 肥沃な大地



サトウキビ畑を中心とした田園風景が広がる本町は、肥沃な大地に恵まれ、昔から農業が盛んなまちとして栄えてきました。現在も野菜や果実など彩り鮮やかな作物が数多く生産されています。